



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社
コード番号 3880 URL http://www.daio-paper.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐光 正義
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理 (氏名) 高橋 和也 (TEL) 03 - 6856 - 7513
四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	113,563	0.5	4,781	3.7	3,254	△26.3	1,237	△34.7
28年3月期第1四半期	112,957	9.4	4,610	4.6	4,413	38.8	1,896	△19.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △377百万円(-%) 28年3月期第1四半期 3,563百万円(10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.49	7.40
28年3月期第1四半期	13.01	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	654,559	175,989	24.8
28年3月期	656,310	174,820	24.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 162,101百万円 28年3月期 163,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	4.00	-	6.50	10.50
29年3月期	-				
29年3月期(予想)		5.00	-	5.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,000	2.2	9,000	△10.3	7,000	△20.8	3,000	△28.6	20.59
通期	490,000	3.4	25,000	2.8	22,000	3.5	13,000	△10.9	89.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) PT. エリエールインターナショナルマニュファクチャリング、除外 1社
インドネシア

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	149,348,785株	28年3月期	149,348,785株
29年3月期1Q	3,618,624株	28年3月期	3,618,573株
29年3月期1Q	145,730,178株	28年3月期1Q	145,736,182株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の雇用環境が堅調に推移したものの、中国では景気減速が継続し、欧州では英国の欧州連合(EU)からの離脱が決定される等、景気の下振れが懸念される状況です。国内経済では、雇用環境が改善し、企業収益は回復傾向にあるものの、設備投資、輸出は力強さを欠き、景気の先行きは不透明な状況です。

このような状況の中で、当社グループは、平成29年度を最終年度とする第2次中期事業計画(平成27年5月28日発表)の経営目標達成に向け、グループ一体となって取り組んでいます。

当事業年度の取組みについては、紙・板紙事業では、洋紙事業の構造転換と徹底したコスト低減、板紙・段ボール事業の強化を推進しています。

ホーム&パーソナルケア事業の国内市場においては、平成27年9月に可児工場のティッシュ生産設備の増設、12月にエリエールプロダクト株式会社の新工場(福島県いわき市)が稼動し東日本への供給体制が強化されたことに加え、付加価値品を中心にした今春の新品・リニューアル品の販売も好調に推移しています。海外市場においては、平成27年12月にPT.エリエールインターナショナルマニュファクチャリングインドネシアでベビー用紙おむつの生産を開始しました。また、平成28年4月には台湾出張所を開設、タイではウェット商品の生産・販売を開始し、5月からは韓国でフェミニンケア用品の販売を開始する等、海外事業の販路を拡大しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	113,563百万円	(前年同四半期比 0.5%増)
連結営業利益	4,781百万円	(前年同四半期比 3.7%増)
連結経常利益	3,254百万円	(前年同四半期比 26.3%減)
親会社株主に帰属する 連結四半期純利益	1,237百万円	(前年同四半期比 34.7%減)

セグメントの状況は、次のとおりです。

① 紙・板紙

売上高	72,127百万円	(前年同四半期比 0.9%減)
セグメント利益	2,173百万円	(前年同四半期比 2.8%増)

新聞用紙は、新聞の頁数と発行部数の減少幅が小さかったことから、販売数量・金額ともに前年同四半期並みとなりました。

印刷・情報用紙、包装用紙の需要は前年同四半期を下回ったものの、販売品種構成の改善により、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

板紙・段ボールは、平成28年4月に発生した熊本地震及び天候不順による影響等により、販売数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は、円高による原燃料コストの減少等により、前年同四半期を上回りました。

② ホーム&パーソナルケア

売上高	38,476百万円	(前年同四半期比 3.6%増)
セグメント利益	1,905百万円	(前年同四半期比 9.7%減)

衛生用紙は、付加価値品への販売シフトの継続と「消臭+トイレット」をリニューアルし拡販を進めた結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を大きく上回りました。

大人用紙おむつは、近年増加傾向にある失禁症状に不安を持ちながらも、紙パンツを使用していない方が抵抗なくはける新しい下着として「アテント スポーツパンツ」を新たに上市し、新規ユーザーを取り込んだ結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

ベビー用紙おむつは、訪日客によるインバウンド需要減少の影響により、販売数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

フェミニンケア用品は、スリムナプキン「elis Megami」において、売場獲得を軸とした店頭販促活動に注力したことに加え、軽失禁商品「ナチュラ さら肌さらり」の品揃えを拡充し、配荷を拡大しました。

ウェットワイブは、平成27年秋に新規上市したトイレクリナー「キレキラ!」の配荷拡大に取り組んだ結果、販売数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

海外事業は、現地に拠点を有する中国、韓国、タイ、インドネシアのベビー用紙おむつの販売が堅調に推移し、海外売上全体で販売数量は前年同四半期を上回りましたが、海外拠点の現地通貨安の影響により、円貨換算の販売金額は前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は、平成27年12月に生産を開始したPT. エリエールインターナショナルマニユファクチャリングインドネシアの初期費用が発生したこと等により、前年同四半期を下回りました。

③ その他

売上高	2,960百万円	(前年同四半期比 2.7%減)
セグメント利益	421百万円	(前年同四半期比 26.2%増)

主に売電事業、機械事業、木材事業であり、売電は前年同四半期を下回りましたが、チップ販売の増加によりセグメント利益は前年同四半期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,751百万円減少し、654,559百万円となりました。主な増減要因は、投資その他の資産の減少1,967百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,920百万円減少し、478,570百万円となりました。主な増減要因は、長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の減少2,571百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,169百万円増加し、175,989百万円となりました。主な増減要因は、非支配株主持分の増加2,176百万円、及び為替換算調整勘定の減少1,365百万円です。また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し、24.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

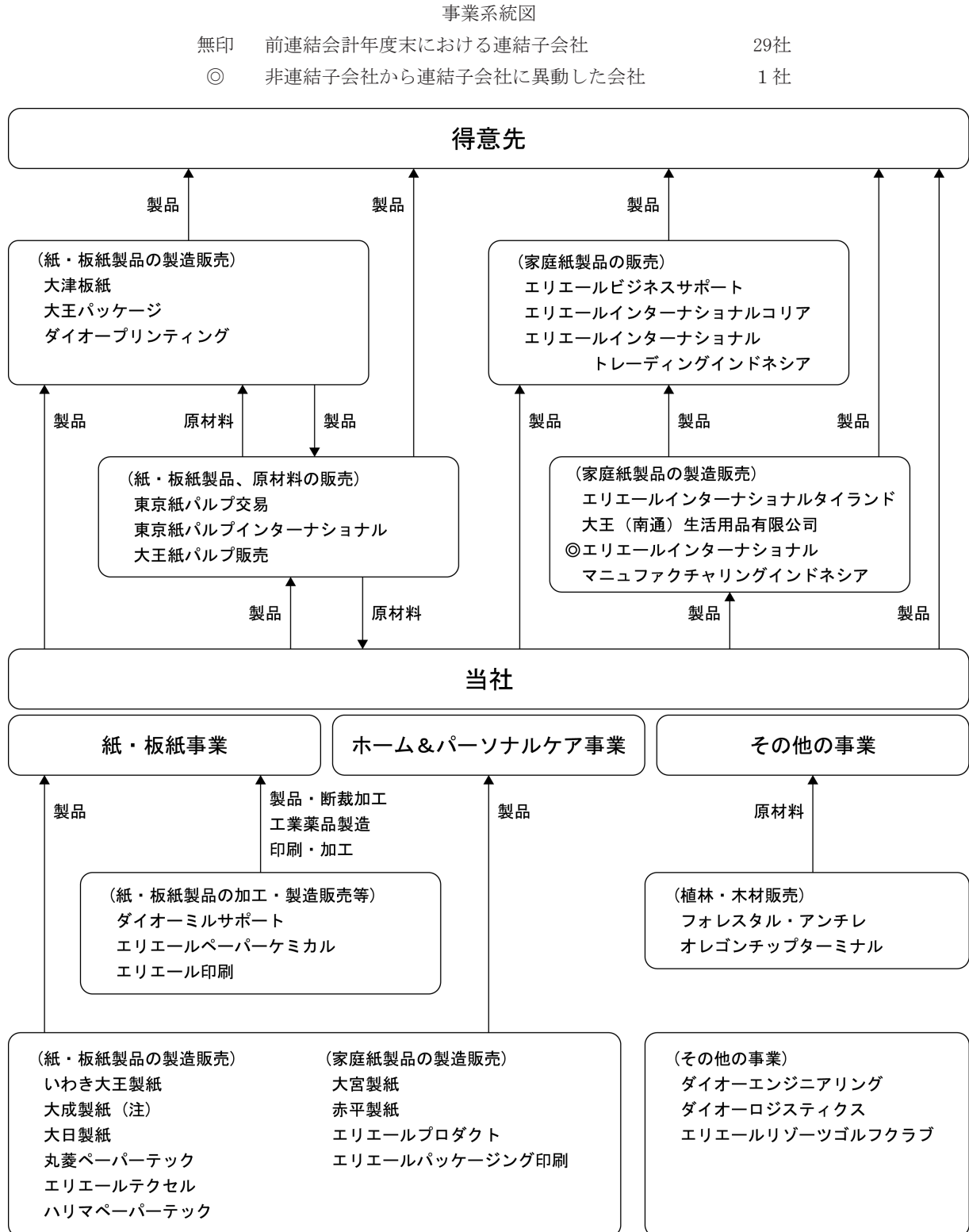
平成28年5月12日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、PT. エリエールインターナショナルマニュファクチャリングインドネシアを連結の範囲に含めています。これにより、当第1四半期連結会計期間末における連結子会社数は30社となりました。なお、PT. エリエールインターナショナルマニュファクチャリングインドネシアは、特定子会社に該当します。

上記の異動を踏まえた事業系統図は次のとおりです。



(注) 大成製紙株式会社は、紙・板紙製品及び家庭紙製品を製造販売しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,915	83,406
受取手形及び売掛金	95,683	92,671
たな卸資産	69,168	71,256
その他	11,390	10,383
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	257,154	257,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,824	68,120
機械装置及び運搬具（純額）	134,050	137,268
土地	74,645	74,234
その他（純額）	18,854	17,579
有形固定資産合計	296,373	297,201
無形固定資産		
のれん	53,463	52,367
その他	3,651	3,595
無形固定資産合計	57,114	55,962
投資その他の資産	45,498	43,531
固定資産合計	398,985	396,694
繰延資産	171	151
資産合計	656,310	654,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,123	45,779
短期借入金	33,560	33,560
1年内返済予定の長期借入金	79,941	75,540
未払法人税等	5,190	1,844
引当金	4,675	2,371
その他	46,772	55,887
流動負債合計	219,261	214,981
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,135	30,128
長期借入金	199,992	201,822
長期設備関係未払金	4,022	3,391
退職給付に係る負債	18,874	18,984
引当金	508	499
その他	8,698	8,765
固定負債合計	262,229	263,589
負債合計	481,490	478,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,707	39,707
資本剰余金	39,922	39,817
利益剰余金	83,772	83,894
自己株式	△2,907	△2,908
株主資本合計	160,494	160,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,250	6,523
為替換算調整勘定	△2,822	△4,187
退職給付に係る調整累計額	△814	△745
その他の包括利益累計額合計	2,614	1,591
非支配株主持分	11,712	13,888
純資産合計	174,820	175,989
負債純資産合計	656,310	654,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	112,957	113,563
売上原価	86,869	86,136
売上総利益	26,088	27,427
販売費及び一般管理費	21,478	22,646
営業利益	4,610	4,781
営業外収益		
受取利息	34	30
受取配当金	478	290
受取保険金	382	293
その他	440	611
営業外収益合計	1,334	1,224
営業外費用		
支払利息	1,249	982
為替差損	—	1,446
その他	282	323
営業外費用合計	1,531	2,751
経常利益	4,413	3,254
特別利益		
固定資産売却益	1	9
受取保険金	7	5
特別利益合計	8	14
特別損失		
固定資産除売却損	160	125
投資有価証券評価損	1	164
減損損失	14	151
災害による損失	11	90
その他	290	24
特別損失合計	476	554
税金等調整前四半期純利益	3,945	2,714
法人税、住民税及び事業税	782	1,542
法人税等調整額	1,147	19
法人税等合計	1,929	1,561
四半期純利益	2,016	1,153
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	120	△84
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,896	1,237

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	2,016	1,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,750	232
為替換算調整勘定	△291	△1,831
退職給付に係る調整額	88	69
その他の包括利益合計	1,547	△1,530
四半期包括利益	3,563	△377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,432	214
非支配株主に係る四半期包括利益	131	△591

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,771	37,144	109,915	3,042	112,957	—	112,957
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,458	519	4,977	13,600	18,577	△18,577	—
計	77,229	37,663	114,892	16,642	131,534	△18,577	112,957
セグメント利益	2,112	2,109	4,221	334	4,555	55	4,610

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、運送業、売電事業及びゴルフ場事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,127	38,476	110,603	2,960	113,563	—	113,563
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,485	487	4,972	13,791	18,763	△18,763	—
計	76,612	38,963	115,575	16,751	132,326	△18,763	113,563
セグメント利益	2,173	1,905	4,078	421	4,499	282	4,781

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、運送業、売電事業及びゴルフ場事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。